

心と心を

つなぐ

ネットワーク



自分の一日を考えてみよう

毎日顔を合わせる仲間にとって、一日には出会いと別れがある。
朝の出会いは、新しい一日の始まり。
帰りの別れは、その日のひとつの区切り。
一日は、元気なあいさつで始まり、気持ちのいいあいさつで終わる。

礼儀とはまごころの表れ

礼儀とか作法といわれると「やっかいでかた苦しいもの」と思っているあなた。
なにもそんなに難しく考えることはない。
あなたの素直な気持ち、つまり、まごころをそのまま表せばいいのだ。

心を伝える形を身につけよう

相手を思う心は
どのように伝わっていくのだろうか。
心で思っているだけでは、伝わらない。
たとえば、伝統的な礼儀作法は
心を形で表すことの大切さを示している。

試合後のあいさつ 心は言葉とおじぎで伝わっていく



作法は形と心の大切さを伝える

「ありがとう」も「おはよう」も
そして「ごめんなさい」も
言葉で表さなければ相手に伝わらない。
言葉も形。おじぎも形。
心を伝えるのはあなたが示す形。
心を自然に形で表すことができるといいね。

心を伝える形にはほかにどのようなものがありますか。

エチケットは心をかよわせるチケット

チケット 時 ◀▶ 場

時と場に応じた心づかいは
だれにでも通用する「チケット」。
わたしの心のネットワークを広げる。

▼おりる人への「チケット」



▼次の人への「チケット」



▲となりにすわる人への「チケット」

時

時と場に応じた言葉

づかいと態度がある

場

あなたは どうしますか？

地域を調べる学習でパン屋さんへうかがうことになりました。
 予約をとる係はあなたです。
 お願いするのは学校の近くにある「リバティー」というパン屋さん。
 さあ、電話で見学を申しこみます。
 あなたはどのようにお願いして、予約をとりますか。

さあ、電話で訪問のお願いをしてみましょう。

電話をかける。



自己紹介

●自分たちについて伝えたいこと
 ●よい印象をもってもらうために気をつけること

訪問の申し込み

●訪問の目的などの話し方
 ●まず伝えなくてはいけないこと
 ●申しこむときの気持ち

当日についての確認

●時間の使い方
 ●訪問をじゅう実させるための打ち合わせ

お願いが終わったとき

●感謝の言葉
 ●感謝の気持ちをこめるために伝えたいこと

ここでもなんと言おうかな？

約束ができました。さて？

そして当日「リバティー」にうかがいました。

それぞれの場面で気をつけることは？

お店に着いたとき

●顔を合わせるときの心がまえ
 ●まず最初に話したいこと

インタビューや見学をしているとき

●始めるときの気持ちや心がまえ
 ●行いや言葉づかい

訪問が終わったとき

●全部終わったときに伝えること
 ●学校や家にもどってできること



話し言葉や、人に接する態度が乱れているといわれるいまの世の中。小学生のわたしたちも、ついついひどい言葉をつかっているし、態度もちょっと乱れがちかもしれない。
 時と場に応じた敬語などの言葉づかいや態度を、いまのうちにしっかり身につけておこう。